

SUNS スフレ通信

Support Office for Female Researchers

女性研究者・女子学生のキャリアを支えるための メンター研修会を開催しました!

7月4日(水) 第1回 メンタリング入門



立教大学大学院特任教授
渡辺三枝子先生

渡辺三枝子先生を講師にお迎えして、「女性研究者のためのメンタリング入門」をテーマに、質疑応答を含めて約2時間の研修会を実施しました。

第1回目ということもあり、メンタリングそのものについて理解するための内容でした。メンタリングが注目されるようになった背景から、

メンタリングとは何なのか、メンタリング制度を導入する意義などについてわかりやすく説明いただきました。

「メンタリング」という言葉を初めて聞いた人にもわかりやすく、また、これからメンター・メンティーとなる人にとって、メンタリングについて理解するために重要な内容でした。



8月9日(木) 第2回 ライフイベントとキャリアデザイン



第2回目は、宮城まり子先生を講師にお迎えして、「女性研究者のライフイベントとキャリアデザイン」をテーマに、研修会を行いました。

研究とライフイベントの両立における不安や悩みをもつ人に対して、カウンセリングの手法を用いたキャリア支援について、初心者にもわかりやすい解説をしていただきました。キャリアは偶然の連続から形成されており、その偶然の出会いを、自分にとって意味のあるものに変え、準備・

行動することが重要であるとお話をされました。また、メンターは、相談者の話をよく聴き、相手のことを理解することが大事であることを強調されました。

法政大学キャリアデザイン学部教授
宮城まり子先生



第3回メンター研修会を開催します。

主催：男女共同参画推進委員会・女性研究者支援室 共催：高等教育研究センター

テーマ 大学におけるメンタリングの実践
講師：中井 俊樹 氏
(名古屋大学高等教育研究センター准教授)

- ◇日時 9月10日(月)13:00～15:00
- ◇主会場 松本キャンパスSUNS大会議室
…各キャンパスSUNS配信
- ◇対象者 本学教員

プログラム

- 13:00 開会の挨拶
松岡 英子
(女性研究者支援室長)
- 13:10 講義
●講師
中井 俊樹 氏
●テーマ
「大学におけるメンタリングの実践」
- 14:40 質疑応答
- 15:00 閉会



学長と女性研究者の懇話会 in 長野(教育)キャンパス

平成24年
6月26日(火)

6月26日(火)、長野(教育)キャンパスにおいて学長と女性研究者の懇話会を開催しました。教育学部、工学部、繊維学部にも所属する9名の女性研究者が参加し、活発な意見交換が行われました。

松岡 英子 女性研究者支援室長

現時点で文科省の女性研究者研究活動支援事業には、国立41大学が採択されており、信大も昨年度採択されました。従来、日本の社会は男性中心で、女性が男性に合わせていかなければなりませんでしたが、今は時代もかわってきました。女性が働きやすい信州大学にしていくことは、男性も働きやすい信州大学になることだと思います。本日は学長と直接お話できる貴重なひと時です。



山沢 清人 学長

明るく活気あるキャンパスは、女性が生き生きと勉強し、生き生きと教えているキャンパス。

そういうキャンパスを作りたいと思っています。忌憚のない意見を出していただき、それを信州大学の経営に生かしていきたいと思っています。



男女共同参画をすすめるために…



- 入試の時に子どもを預かってもらえなかったり、学童保育がなかったり苦労して子育てをした。
- 産休・育休も必要ですが、働きたいという女性もいる。
- 研究に専念したいと思いつつ、子どもの病気や行事などの際は子どもを優先してしまうため、どちらも中途半端という気持ちになってしまうので子育て支援の充実はありがたい。
- 子育てと仕事の両立に悩む中、信州大学でも**男女共同参画推進が始まり**、相談することができるようになったのは嬉しい。
- 女性研究者支援室があるのがとても心強い。

- 女性が集まり情報交換しあう機会も大事だが、**男性の先生にも一緒に入ってもらい、一緒に問題を解決したい。**
- 男女共同参画は、女性のためだけでなく、男性のためでもあるので、時間をかけて男女一緒に力を合せていく必要がある。**
- 男性とか女性とか言わずに、**だれでも必要な時にサポートを受けられる体制**があるとよい。
- 教員に男性が多いのが普通という状況について、**学生はどのように感じているのか**知りたい。



山沢 清人 学長

掌握する業務に理解があり、能力がある人という基準で男女関係なく役員を選考していますが、女性の役員への登用は、学長就任以来ずっと検討しています。女性研究者支援については、補助金が終了してからも、継続していきたいと思っています。できること、できないことがあります、皆さんから刺激を得ながら実現させていきたいと思っています。



渡邊 裕 理事

学部教員時代から男女共同参画に関心があり、状況を改善したいと思っていました。女性の評議員も増やしていきたいし、学部長にもなっていただきたいですが、理系、特に工学系で意識を変えていく必要があります。本事業の補助金が終了してから、どのように継続していくかが重要です。



- 助言者：渡邊 裕 理事（経営企画・総務・人事労務担当）
（SuFRE通信No.4の担当業務に誤りがありましたので、上記のとおり訂正します。）
- コーディネーター：松岡 英子 女性研究者支援室長

One Coin
ランチ

ランチミーティング を開催しました！

女性研究者・女子大学院生の情報交換やコミュニケーションの場としてランチミーティングを開催しました。



6月22日(金) 12:15~13:00 in 長野(教育)キャンパス

他のキャンパスに先駆けて、教育学部で初めてのランチミーティングを開催、教員6名が集まりました。今年度採用の女性教員との顔合わせができ、アットホームな雰囲気でも始めました。4日後に開催される学長との懇話会について、女性教員比率向上のためのポジティブアクションをテーマに、女性教員比率の目標値や、在職中の女性研究者が辞めないよ

うにする工夫も必要であるなど様々な意見交換が行われました。また、7月21日(土)の教育学部オープンキャンパスで女性教員の紹介パネルの展示についてアイデアを出し合いました。



7月18日(水) 11:30~13:00 in 南箕輪キャンパス

農学部の教員・大学院生と附属施設の研究員合わせて5名の参加がありました。松岡支援室長の挨拶と、参加者からの自己紹介があり、研究とライフイベントの両立について意見交換や、すでに両立を実践している教員の経験など聞くことができました。また、博士課程3年生から、「若手女性研究者の会」立ち上げのための準備を進めているという報告がありました。参加していた大学院生も興味津々の



様子でした。スプレ通信を大学院生もぜひ読んでほしいという要望がありました。

7月19日(木) 11:30~13:00 in 上田キャンパス

繊維学部とSVBLから、教員・研究員・大学院生ら合わせて7名の参加がありました。最初に松岡支援室長から、本事業についての説明と、今年度、繊維学部にも1人の女性教員が誕生したと報告がありました。参加者からは、それぞれの研究分野を含めた自己紹介が行われました。意見交換では、博士号の取得や研究のために婚期や出産が遅くなる傾向があり、人生設計を立て難いという意見や、複数の研究者との協同体制を



構築することが、研究・教育活動を進める上で重要であるなどの意見が出されました。

オープンキャンパスでパネル展示！

平成24年7月21日(土)教育学部でオープンキャンパスが開催されました。女性研究者支援室(SuFRe)は「信州大学の男女共同参画」をテーマに、パネル展示コーナー、相談コーナー、資料コーナー、休憩コーナーを配置。

パネル展示コーナーでは、女性研究者支援室長のあいさつパネル、女性研究者支援事業の紹介パネル、女性教員の紹介パネルなど計14枚を展示し、相談コーナーでは本学の女性教員が直接相談に応じました。資料コーナーでは、女性研究者支援事業で作成した刊行物などを展示、配布しました。

来場した高校生からは、「パネル展示は、大学の先生が身近に感じました。」「先生に直接相談でき、勉強にやる気が出た。」と感想がありました。



事業紹介のパネルを見る高校生



展示パネル



平成24年度 (10月～3月期) 研究補助者制度 利用者の選考結果

7月に募集を行いました「平成24年度(10月～3月期)研究補助者制度」について、厳正な審査のうえ、利用者を決定いたしました。

選考結果

採択 16件
(女性12名、男性4名)

高等教育研究センター共催講演会 ～共通の理想をめざして～

6月29日松本キャンパスにおいて、講師に、米国ノースカロライナ州アパラチアン州立大学・FDセンター長のキャスリーン・ブリンコ博士をお迎えし、講演会を開催しました。



SUNS 遠隔配信での聴講者を含め、94名の教職員・学生等が参加しました。米国の大学での経験をベースに、女性研究者や女性職員、外国人教職員や障がい者等

の現状説明と共に、様々な人々の可能性を広げる職場環境を整え、支援することは、それぞれの多様性が可能性に繋がり、大学や学生の教育にとっても強い影響を与えることをご教授いただきました。講演会では、個人、組織、政府等の様々なレベルでの「バリアを壊す」ために、自己の認識を明確にし、個々の考えについて討論するブレインストーミングが行われました。また、全ての個人、とりわけ私達とは違う人々に内在する価値と尊厳を尊重し、支え、認め合うよう努力を続けることの重要性を語られました。



お問い合わせ

信州大学 女性研究者支援室 (SuFRe)

松本分室 (総務部人事課内)
〒390-8621 松本市旭 3-1-1
TEL 0263-37-2167
FAX 0263-37-3314
内線 811-2127

長野分室 (教育学部内)
〒380-8544
長野市西長野 6-口
TEL/FAX 026-238-4048
内線 831-4048

E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp
HP: <http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/sufre/>

開室時間
9:00～17:00(月～金)



長野分室(教育学部内)案内図

